

令和6年度に動物愛護推進員から提出のあった主な意見

【行政に対する要望・意見】

- ・ 公営シェルターの整備
- ・ 飼養動物の繁殖問題について頭数が少ないときに行政が指導に入り推進員につなげてほしい
- ・ 行政との個人情報のやり取りがとても難しい
- ・ 保健所に現場相談をしても現場に入ってくれない、適切な対応を行ってこない。
- ・ 福祉に関する勉強会の実施
- ・ 推進員活動がしやすくなるよう千葉県で業者と提携する等の対応
- ・ 市内動物に関する課題や情報交換会の場連絡協議会の引き続きの開催
- ・ 狂犬病予防接種についての認識間違い（病気ならば実施しなくてよい等）を是正するためのわかりやすいチラシ作成
- ・ 子どもたちが安全に動物との触れ合い方が学べるような動物介在教育の実施
- ・ ボランティアありきの対応でなく行政が主導となって対応できるような仕組みづくり

【行政と動物愛護推進員等の連携】

- ・ 相談窓口を行政に一本化の上、行政から動物愛護推進員やボランティア団体への活動依頼
- ・ 市町村毎に、犬・猫を担当する動物愛護推進員の設置
- ・ 愛護センターと連携した保護活動の実施
- ・ 動物愛護推進員同士の連携（話し合いの場、活動共有）
- ・ 行政（動物部局、福祉部局）・動物愛護推進員・ボランティア団体等の関係機関における連携
- ・

【多頭飼養】

- ・ 個人ボランティア、ボランティア団体、行政間の速やかな連携
- ・ ボランティア団体が気軽に相談できる行政窓口の設置
- ・ 多頭飼養者に対する行政の強制的な立入調査や指導
- ・ 早い段階での対応の必要性
- ・ 問題発生元の特定が困難

【地域猫、TNR について】

- ・他地域を活動拠点とするボランティア団体、による市町村助成金の使用
- ・国主導による無料又は安価な不妊去勢手術の実施
- ・行政から県民への地域猫活動に係る更なる周知・啓発（地域住民の理解不足）啓発資料の制作
- ・助成金の充実と活動のサポートによる、ボランティア団体のみならず一般県民も活動しやすい環境の整備
- ・地域猫活動に関する費用、人的な負担、知識不足の懸念。
- ・ねこの餌やりについて注意しても無視され人間同士のトラブルに発展している。

【費用の問題】

- ・物価高騰と高齢化による動物愛護推進員としての活動力低下
- ・ワクチン接種、不妊去勢手術、マイクロチップ登録等の費用に係るボランティア団体への金銭的な負担
- ・譲渡活動に要する補助
- ・避妊去勢手術に関する否定的な意見（お金）
- ・保護活動をしている人の負担が大きい（時間費用）
- ・金銭面での補助の必要性（手術費用など）。

【飼主等の高齢化による問題】

- ・独居高齢者・独居療養者等のペットが取り残される事例の頻発
- ・高齢者による無自覚な餌やりによる猫の増加
- ・高齢者によるペット問題の更なる周知
- ・各地域包括支援センターへのチラシの配布等、予防的なアプローチの実践
- ・福祉行政と動物行政の連携
- ・高齢者の猫の引き取りについて、ケアマネージャー等から早めに情報が欲しい。

【災害対策】

- ・九都県市合同防災訓練への参加
- ・講習会における災害対策に必要な物品の展示
- ・昨今の自然災害の多さに鑑み災害時の同行避難訓練に係る事前周知

【その他】

- ・ボランティア団体による許容量以上の保護による多頭飼養崩壊
- ・狂犬病予防接種と市町村登録の位置づけの周知不足
- ・マイクロチップ制度に係る周知不足
- ・動物愛護推進員が活用できる啓発資料等の不足
- ・攻撃性のある収容犬へのトレーニングに関する専門的指導
- ・動物愛護教育に要する人員配置と予算措置
- ・保護猫譲渡の難しさ
- ・ブリーダー等犬猫販売業者への注意喚起（繁殖引退犬の問題増加）
- ・動物飼養に関する基本的なルールやマナーなどの知識不足
- ・行政の介入を拒む飼い主への対応、団体の負担の増大
- ・しつけができないまま飼い犬のしつけを放置している方への対策の必要性
- ・暑い日、日中の散歩が犬に与えるダメージについて気軽に配布できるチラシの作成
- ・行政が把握していない問題への対応
- ・動物に関する問題発生前に常日頃から周囲の支援者に対し保健所職員（動物及び福祉両部門）や推進員が予防的助言を行う必要性。